

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課
担当課長名：岡部 和憲

事業名	りんこうせん(かつない) 臨港線(勝納)	事業区分	街路	事業主体	北海道
起終点	自：北海道小樽市勝納町 至：北海道小樽市築港	延長	0.4 km		

事業概要
当路線は、国道5号から小樽市中心部を接続する路線であり、起点部は北海道横断自動車道の小樽ICに直結し、小樽市内の骨格幹線街路となっている。当路線内の老朽化している勝納跨線橋の架け替え、及び当路線の拡幅整備を行い、安全で円滑な都市内交通を確保する。

事業の目的、必要性
当路線のJR函館本線を跨ぐ勝納跨線橋は、老朽化により構造上安定が保たれておらず、当路線が第1次緊急避難路に位置づけられていることから、当橋梁の架け替えを行い安全な交通を確保する。また当路線を拡幅整備し勝納交差点において交通渋滞の緩和を図る。

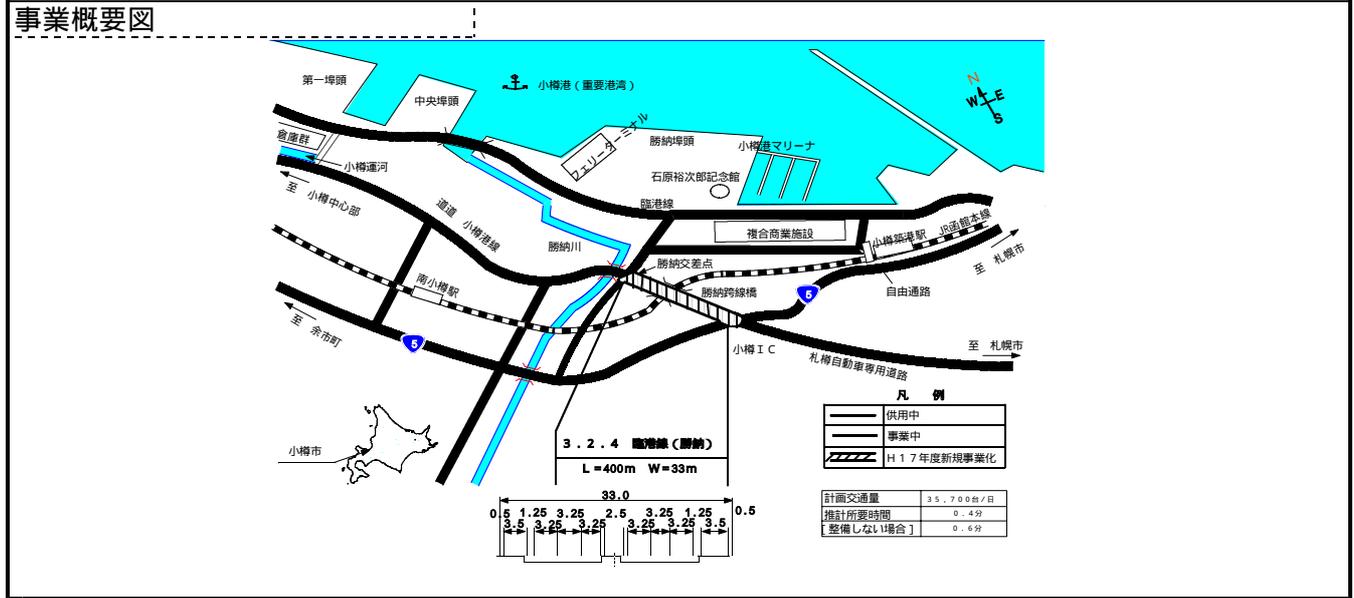
全体事業費	30 億円		計画交通量	35,700 台/日	
費用便益分析結果	B/C	2.0	総費用	26 億円	
			(事業費：25.7 億円 維持管理費：0.3 億円)	総便益	52 億円
			(走行時間短縮便益：49.5 億円 走行費用減少便益：0.1 億円 交通事故減少便益：2.6 億円)	基準年	平成16年

感度分析の結果

交通量変動	: B/C = 2.2 (交通量 +10%)	B/C = 1.8 (交通量 -10%)
事業費変動	: B/C = 1.8 (事業費 +10%)	B/C = 2.2 (事業費 -10%)
事業期間変動	: B/C = 1.9 (事業期間 +20%)	B/C = 2.1 (事業期間 -20%)

- 事業の効果等**
- ・物流効率化の支援（重要港湾へのアクセス向上が見込まれる）
 - ・都市の再生（市街地の都市計画道路網密度が向上する）
 - ・個性ある地域の形成（観光地へのアクセス向上が期待される）
 - ・災害への備え（対象区間は緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある）
- 他9項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見
臨港線の整備は、築港地区にある大規模複合商業施設への交通混雑緩和や危険橋梁である勝納跨線橋の架け替えにより、都市内の円滑で安全な交通が期待され、早期整備が必要である。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。